

宝くじ助成事業で防災資機材を整備しました



宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実強化を図るために地域自主防災組織育成事業が行われています。

平成25年度は山口自主防災会がこの宝くじの助成金を活用し、防災資機材などを整備しました。

今後これらの資機材を活用して地域の防災活動に努めていただきます。



しらたか夢未来発掘事業  
事業実施報告会を開催

「しらたか夢未来発掘事業」は、平成23年度に2事業、平成24年度に3事業、平成25年度に1事業が採択され、3月24日、平成25年度の事業報告会が行われました。それぞれの取り組みの先進地といわれる他市町のグループへの視察や開催したイベントなど、成果や課題が報告されました。6グループのうち、しらたか若者コミュニティネットワーク（横山和浩代表）としらたか応援団（仮）（清野隆博代表）は、3年間の事業を終了し、修了証が交付されました。4グループについては、今後取り組みを紹介していきます。



### 道の駅白鷹ヤナ公園内に 電気自動車用充電器が設置されました

再生可能エネルギーの利用推進や防災機能の向上、次世代自動車への対応を目的に、道の駅白鷹ヤナ公園に電気自動車用の急速充電器と太陽光発電蓄電設備が設置され、3月29日より供用が開始されました。山形県の再生可能エネルギー等導入促進事業を活用して整備されたもので、電気自動車用の急速充電器は、駐車場に専用の簡易車庫が設置され、24時間利用できます。また、太陽光パネルは道の駅の屋根に設置され、施設の電力として利用されます。

供用開始の3月29日には、記念のセレモニーが行われ、電気自動車の展示や試乗会なども行われました。訪れたひとたちは、電気自動車の試乗で乗り心地を確かめていました。



### 白鷹町エネルギー戦略会議が提言書を提出



3月17日、白鷹町エネルギー戦略会議（三浦秀一会長）より「白鷹町エネルギー計画の推進に関する提言書」が提出されました。

町では、再生可能エネルギーに関する基本的施策を定めることを目的として平成24年度に「白鷹町エネルギー計画」を策定しました。この提言書は、計画の推進体制の大きな枠組みとして組織した白鷹町エネルギー戦略会議及びバイオマス利用促進ワーキングの意見をまとめ、今後の戦略目標を提案するものです。木質バイオマスエネルギー導入推進に関する提案を中心に「町と共に目標の実現に取り組みたい」と三浦会長より町長に手渡されました。

町では今後、この提言書を踏まえて、町の地域特性を生かした再生可能エネルギーの推進を図っていきます。